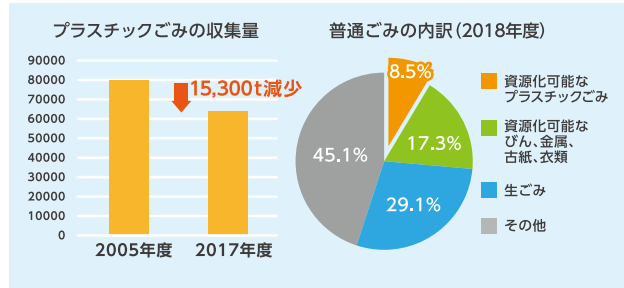


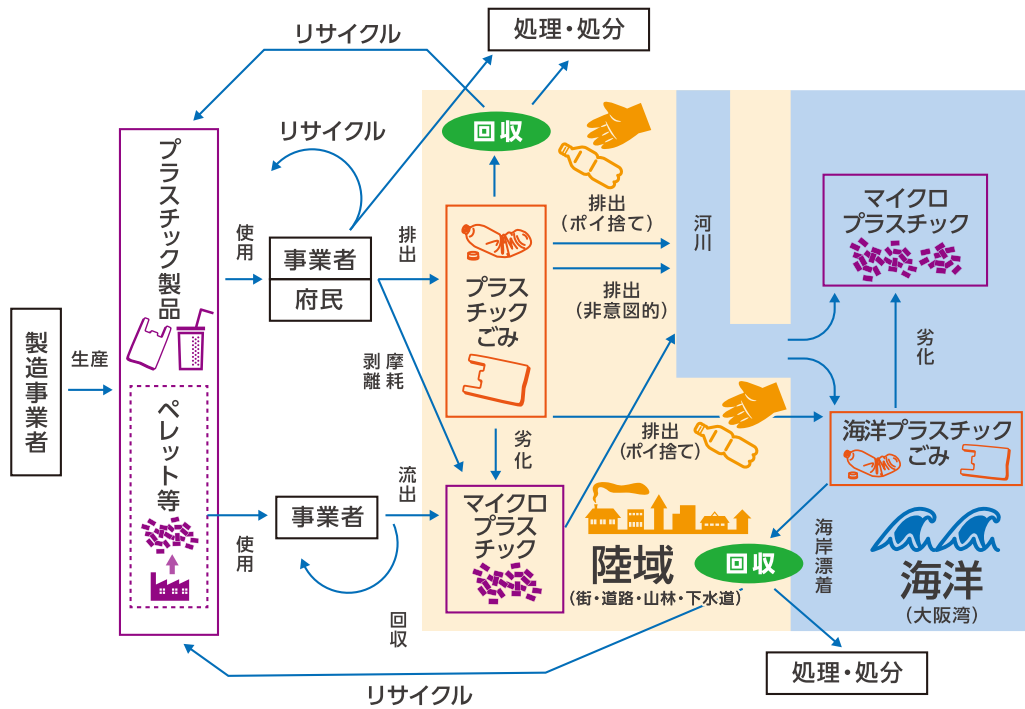
∞ 現状分析と課題

○海洋プラスチックごみ

- 海洋プラスチックごみは海外から流出するだけでなく、日本から流出したごみも含まれることから、世界全体の課題としての対処が必要となります。
- 大阪湾における海洋ごみの約7割は陸域からの流入であり、その約8割がプラスチックであることから、流域圏の内陸部地域と沿岸地域が一体となった広域的な取組みが必要となります。
- 大阪市が収集するごみの中には資源化が可能なプラスチックごみが約8.5%含まれており、さらなる排出抑制が必要となります。



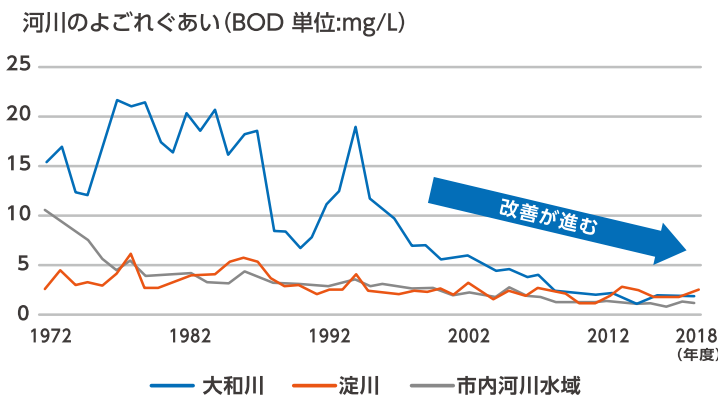
▶大阪市域におけるプラスチックごみの状況



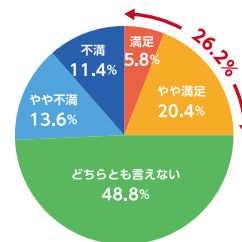
▶海洋プラスチックごみ発生プロセスのイメージ

○大阪市の水環境

- 川や海のきれいさ、水辺の親しみに関する市民の満足度は3割程度にとどまっており、水環境に係る 今後の課題として、水辺空間を含めた水環境のさらなる改善を進めていくことが必要となります。



川や海等の水のきれいさに対する市民満足度



「2019年9月実施 民間ネット調査結果」より

